



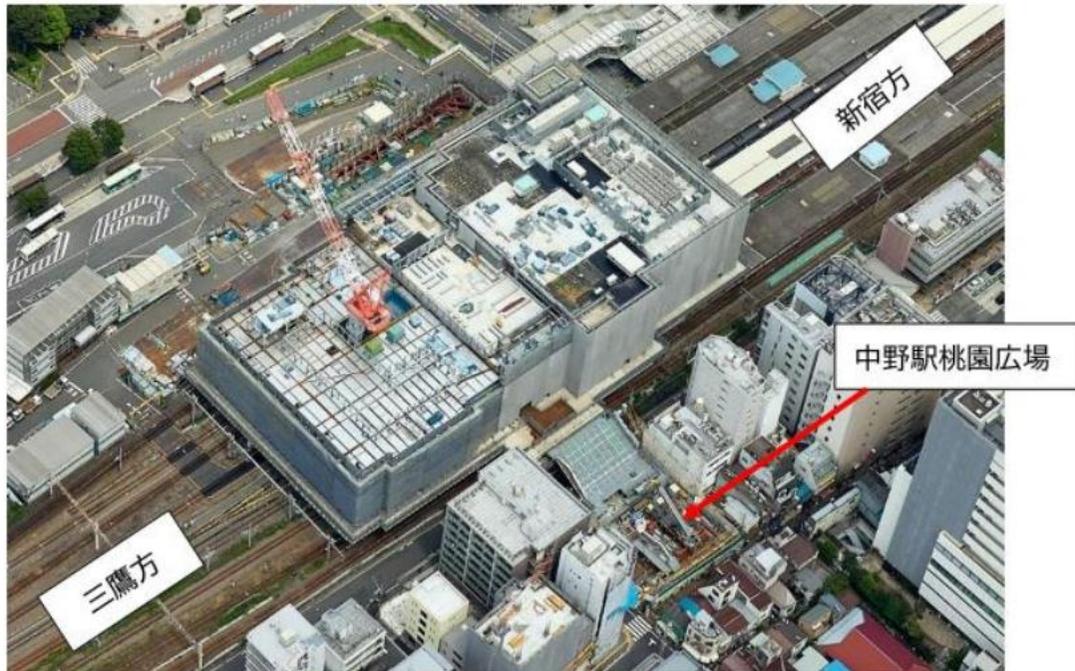
2025年2月22日
区民と区長のタウンミーティング

中野駅新北口駅前エリアのまちづくり

まちづくり推進部 中野駅周辺まちづくり課

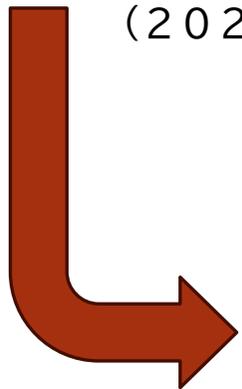
1-1 西側南北通路・橋上駅舎

《現況》



バリアフリーで誰もが利用しやすい環境を整備します。

《完成イメージ》 (2026年完成予定)



《現況》



《完成イメージ》 (2029年完成予定)



▲新北口駅前広場全体イメージ



▲中野四季の都市方面デッキイメージ

西側南北通路と中野四季の都市、囲町をつなぐ
歩行者用デッキを新たに整備。安全な歩行空間を確保します。

《経緯》

- ・ 令和2年（2020年）1月
中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画を策定
- ・ 令和3年（2021年）1月
新北口駅前エリア拠点施設整備に係る施行予定者選定
- ・ 令和6年（2024年）9月
施行予定者から、事業着手が困難である旨の報告
- ・ 現在
再開発事業に関わる事業計画の見直しについて
施行予定者と協議中
- ・ 令和7年（2025年）3月 予定
再開発事業に関わる事業計画の見直し方針、今後のスケジュールの取りまとめ



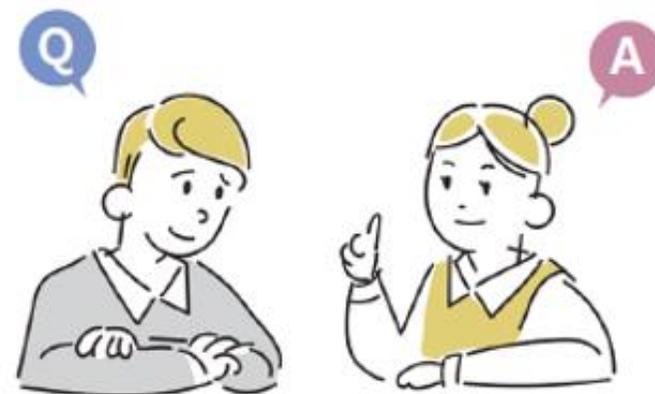
Q1

施行予定者から物価高騰等の理由により想定工事費が900億円以上上昇する旨説明があったそうですが、この上昇分は区が負担するのですか？

A1

区は市街地再開発事業の地権者の一人ですが、上昇分は区が直接負担するものではありません。

本事業は民間の市街地再開発事業であり、施行予定者が本事業全体で収支改善を検討します。



Q2

新しい施設の住居の割合を増やし、オフィスの割合を減らすと聞きました。どうしてでしょうか？

A2

収支のバランスをとるためだと施行予定者から説明を受けています。一方で、多目的ホールや展望施設等を新たに整備する他、多くの方々が利用できる商業空間をより充実させ、交流人口を増やし、にぎわいをつくりたい旨の提案を受けています。区は、当初提案内容とも比較しながら、望ましい施設のあり方について検討していきます。



Q3

もう一度、中野サンプラザを使うことはできないのでしょうか？

A3

竣工から50年以上が経過した中野サンプラザの建物を再び使用するには、改修工事に100億円以上の費用が掛かります。現時点では、再利用する予定はありません。

Q4

中野サンプラザが閉館してから、駅前が暗くなり、にぎわいが失われている気がします。

A4

工事期間中であっても、駅周辺のにぎわいの継続は重要な課題と考えています。建物の駐車場部分や広場部分など、施設の一部の暫定活用を検討します。また、中野四季の都市やナカノサウステラの公開空地などを含め中野駅周辺全体でにぎわいを創出します。

3 区民の皆様からいただいた声 〈施行予定者との協議について〉

Q5

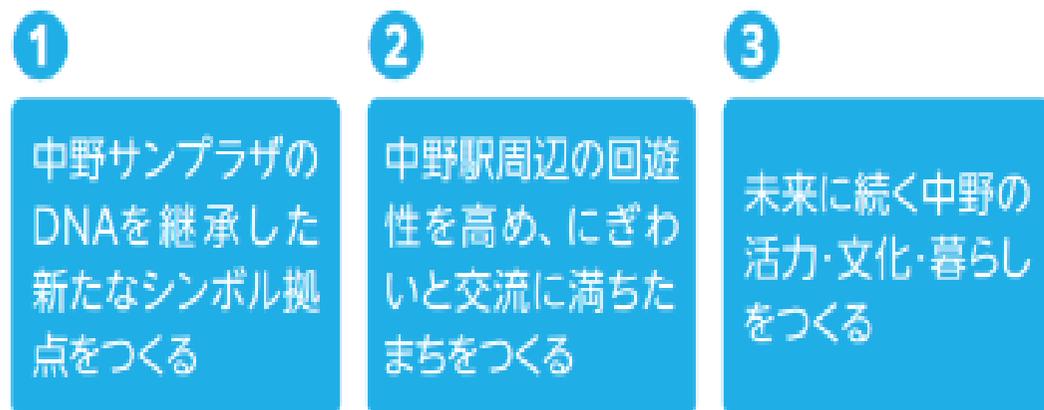
施行予定者とどのように協議を進めていくのでしょうか？

A5

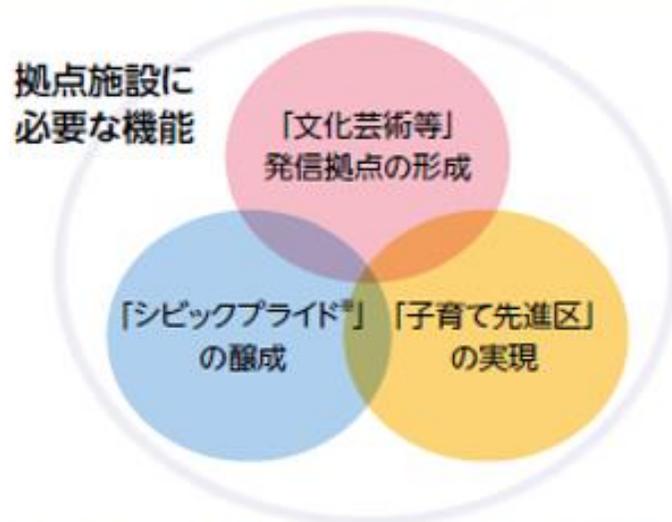
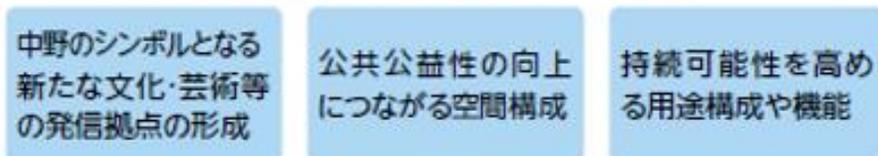
本エリアのまちづくりは再整備事業計画に基づき進めていきます。まちづくりの実現には3つのコンセプト、基本方針、拠点施設に必要な機能を確認し、事業を進めていくことが必要であると考えています。

これらが実現できるかという視点で施行予定者の提案を確認しながら、施行予定者と事業を継続するかどうか方針を示す予定です。

中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画のコンセプト



拠点施設整備・誘導の基本方針



※シビックプライド=地域や自治体に対する住民の誇りや愛着のこと

中野駅新北口駅前エリアのまちづくりに関する疑問やご意見について、
ぜひ話し合っていたいただきたいと思います。